

多摩特研交流会（小学校）

6月6日金曜日、日野市内の特別支援学級の子ども達が日野市市民の森ふれあいホールに集まり、多摩特研交流会を行いました。「友達の輪を広げよう」のスローガンが達成できるよう、交流種目を通して子ども達が楽しみながら関われる活動をしました。今年度は、七生縁小学校なのはな学級が新設され、初めての参加になりました。交流種目の前に行った「はじめの会」では、そのなのはな学級の子ども達が、「ともだちのわをひろげよう」を書かれた大きなフラッグを使ってスローガンコールをしました。たくさんの人たちが見ている中でも力強く、協力してスローガンコールをして、交流会を盛り上げることができました。

交流種目は、歌「ガンバリマンのうた」、体操「ラーメン体操」、コミュニケーション「猛獣狩りに行こうよ」、フォークダンス「タタロチカ」を行いました。歌「ガンバリマンのうた」では、なのはな学級が新たに仲間に入ったため、歌詞と踊りの動きを曲に合わせて少し調整して行いました。子ども達全員で歌と踊りをするのは交流会当日だけでしたが、頑張って取り組めました。体操「ラーメン体操」は、ラーメンを題材にした体操で、楽しみながら体を動かすことができました。コミュニケーション「猛獣狩りに行こうよ」では、生き物の言葉を入れて行いました。色々な学校の子ども達が混ざったグループができ、その中で簡単な自己紹介をして交流ができました。フォークダンス「タタロチカ」では、輪になって動くところで、今年度はスズランテープを使わず、手を繋ぎました。コロナ禍以降数年ぶりに手を繋ぎ、子ども達は協力してきれいな大きな輪を作ることができました。踊りが終わった後、みんなで一つの輪を作れたことに、子ども達は達成感を感じていました。

今年度も多摩特研交流会を通じて色々な子ども達と関わることができ、楽しみながら学ぶことができました。

多摩特研交流会実行委員